

様式 32

研究No.
(記載不要)

平成 23 年度配分 研究成果の概要

研究名	放鷹文化の研究－静岡文化芸術大学から発信する放鷹の文化と伝統－				
特別研究費 配分額	文化政策学部長特別研究費 400 千円				
特別研究費 執行額	400 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏 名	共同研究の 場合の分担
	文化政策学部	国際文化学科	准教授	二本松 康宏	1. 日本文学の分野からみた 放鷹文化の研究 2. 講演と実演の企画と運営 3. 自治体等との連絡
共同 研 究 者	文化政策学部	国際文化学科	准教授	西田 かほる	1. 日本史(中世・近世)から みた放鷹文化の研究
発表の方法 (予定で可)	1 紀 要			号 数	第 号 (年 月 発行)
	2 学会等での発表 学会等名:			発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日
	3 その他 放鷹文化講演会『三河・鷹丘－鷹狩りのふる さと－』 会場/愛知県豊橋市鷹丘小学校			発表日	平成 23 年 12 月 3 日

注:配分を受けた翌年度の7月末までに提出

研究No.
(記載不要)

— —

平成 23 年度配分 研究成果発表報告書(実績)

研究名	放鷹文化の研究－静岡文化芸術大学から発信する放鷹の文化と伝統－				
配分を受けた 特別研究費	文化政策学部長特別研究費 400 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏 名	共同研究者
	文化政策学部	国際文化学科	准教授	二本松康宏	他 1 名
発表の方法	1 紀 要 名 称:			号 数	第 号 (頁～ 頁) (年 月発行)
	2 学会等での発表 学会等名:			発表日	平成 年 月 日
	③ その他 放鷹文化講演会『三河・鷹丘－鷹狩りのふるさと－』 会場／愛知県豊橋市鷹丘小学校			発表日	平成 23 年 12 月 3 日

- ☐ 学会等での発表及びその他の場合は、学会報等発表を証する資料を添付すること。
- ☐ 配分を受けた翌年度の 3 月末までに提出

(研究の目的等)

豊橋市鷹丘校区はかつて小鷹野と呼ばれ、江戸時代には三河吉田藩の「鷹狩り場」であった。

放鷹(鷹狩)とは、ただ獲物を捕る狩猟技術というだけのものではない。古代より鷹狩は天皇の権力(王権)の象徴とされ、朝廷につかえる貴族たちにとっては文化的教養の一つでもあった。鎌倉時代以降の武家社会においても鷹狩の権威は衰えず、将軍家から鷹狩を許されること、また将軍が自ら鷹を放ち、その鷹が仕留めた獲物を分け与えられることは、諸大名にとって至高の名誉とされた。

近年、放鷹文化への学術的な関心が高まりつつある。その研究は、歴史学、文学、文化学、民俗学といったさまざまな分野から関心が寄せられている。我が国における鷹狩の伝来は朝鮮半島、中国大陆、中央アジアへとさかのぼり、アラブ諸国やヨーロッパにも繋がっていることが最新の研究で見えてきた。ユーラシア大陸を横断する鷹狩文化伝来の道は、まさに「鷹の道」として注目されている。

このたび豊橋市鷹丘校区において『放鷹文化講演会 三河・鷹丘―鷹狩りのふるさと―』を開催させていただくことになった。江戸幕府から宮内庁に伝わった伝統的な古式放鷹術の実演をご覧いただき、また、小鷹野の由来、地域の歴史と文化をたどる講演を開催する。今回の催しを契機として、鷹狩の文化と歴史が鷹丘地区における地域文化の再発見に繋がり、また自然との共生を考える機会ともなれば幸いである。

(研究の実施方法等)

放鷹文化講演会『三河・鷹丘―鷹狩りのふるさと―』

開催日 平成 23 年 12 月 3 日 (土)

主催 鷹丘文化協会、豊橋市鷹丘校区自治会

共催 静岡文化芸術大学、鷹書研究会

協力 諏訪流放鷹術保存会

後援 豊橋市、豊橋市教育委員会、財団法人豊橋文化振興財団、
中日新聞社、東愛知新聞社、東海日日新聞社、
NHK 名古屋放送局豊橋支局、東海テレビ放送、テレビ愛知、豊橋ケーブルネットワーク

放鷹術実演

時間 10:00～11:30

会場 豊橋市立鷹丘小学校 体育館 (〒440-0013 豊橋市西小鷹野 3-7-1)

実演 諏訪流放鷹術保存会

公開講演会

時間 11:40～12:30

会場 豊橋市立鷹丘小学校 体育館

講演 鷹狩りの文化と歴史―三河吉田藩と小鷹野をめぐる― 二本松康宏

(得られた成果等)

豊橋を中心とする東三河地区において、徳川家康と鷹狩とのゆかりを伝える歴史や伝承は多々存在する。しかし、これまで、市民が伝統的な古式放鷹術に触れる機会はなく、また学術的な研究が市民に披露されることもなかった。

今回の企画では、伝統的な古式放鷹術の実演を市民の皆さんにご覧いただくことができた。また、我が国における放鷹文化についての研究成果を講演し、鷹狩りの文化と歴史への関心を集めることが出来た。

催しは、NHK をはじめとするテレビニュースでも報道され、また新聞にも紹介された。それによって放鷹文化研究の発信拠点として静岡文化芸術大学の存在を愛知県にもアピールすることができた。